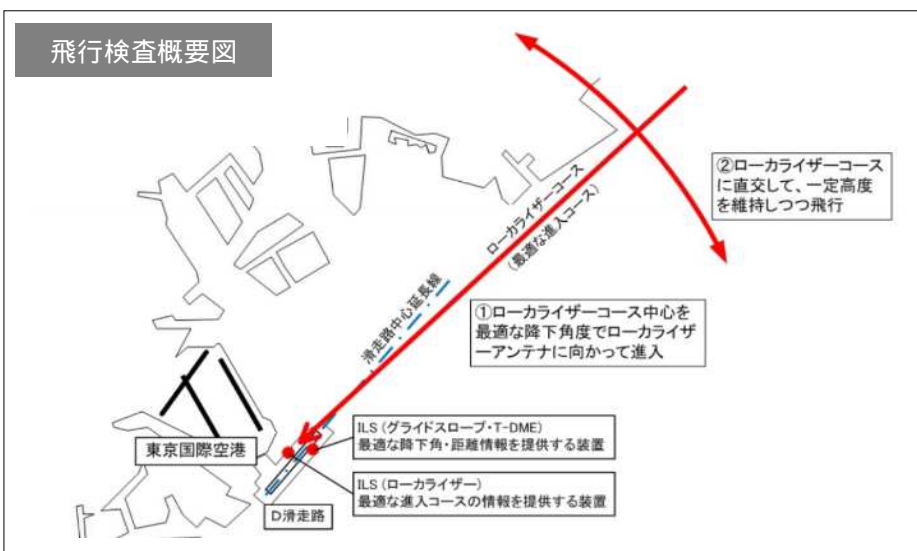


～ D滑走路供用開始に向けた飛行検査を開始～

- 平成22年10月21日の供用開始に向け、平成22年5月17日から6月25日までの約1ヶ月の期間をかけて(終了時期は予定)D滑走路に着陸するためのILS に係る飛行検査を開始した。
- 飛行検査は、実際の航空機を飛行させ、ILS などの航空保安施設(グライドスロープ・ローライザー等)が正常に機能しているかを確認・検査するものであり、検査時間として、午前3時～6時、午後1時～4時の1日2回を実施予定。(ILS:最終進入中の航空機に対して滑走路まで正確な進入経路を示す地上装置)
- 今後は、飛行検査と並行して昼夜24時間連続施工により、埋立部・棧橋部の舗装工事を急ピッチで施工を進めていく。



ローライザー:最適な進入コースの情報を提供する装置,グライドスロープ:最適な降下角・距離情報を提供する装置
マルチラテレーション:航空機から送信される信号を3カ所以上の受信局で受信し、受信時刻差から航空機の位置を測定するシステム



埋立部(舗装工) 滑走路 標準断面図

表層	t=50
基層	t=120
上層路盤	t=130
下層路盤	t=980
盛土	

